

進化したギヤアクションが仕事を变える!

話題の新型ポリッシャー 気になる“実力”を徹底レポート

京セラインダストリアルツールズが3月下旬より発売した、「リョービ」ブランドの電子ギヤアクションポリッシャー「PEG-132」が話題だ。

その気になる実力を、自動車用ケミカル製品の研究・開発で知られる「クリスタルプロセス」(東広島市・秋吉一介社長)のテクニカルセンターで徹底分析した。今号では、長年リョービ製品を愛用し続ける同社ならではの“視点”でその魅力に迫る。

抜群の“キレ味”

「とにかく研磨力が高いです」、PEG-132についてこう評するのは、クリスタルプロセス企画開発部の稲田拓也課長だ。「キレ味が良く、キズを取るスピードが速い。また、磨きキズが付きにくいのも大きな魅力。基本性能の高さを感じます」と続け、その印象を語る。稲田氏の言葉通り、同製品のウリはそこにある。クラスNo.1のハイパワーと、最大の偏心量が研磨力の高さを裏付ける。特筆すべきは、特許出願中という独自の軌跡【図A】を持つパッドの動きだ。一回転ごとに頂点が1/5ずつずれることで、磨きキズを付きづらくするのだ。ぜひとも、QRコードから動画でその軌跡をチェックして欲しい。

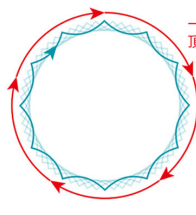
さらに稲田氏は、「性能の高さに目が行きがちですが、重心が安定していて機械そのもののバランスが良い。毎日使うものですから、とても大事なことです」と加え、使い勝手にも太鼓判を押す。



今回お邪魔した「クリスタルプロセス テクニカルセンター」 クリスタルプロセス企画開発部の稲田拓也課長 抜群のキレ味でキズを取る。磨きキズが付きづらいのも特長だ

PEG-132のパッドの動き(軌跡)は、QRコードで動画をチェックしてほしい

〈図A〉PEG-132の軌跡



一回転ごとに
頂点が1/5ずれる

一般的なギヤアクション
ポリッシャーのパッド軌跡
同じ軌跡を描く

研究開発メーカーの出す「最適解」とは?

そして、ケミカル製品の研究開発メーカーという立場で、各種メーカーの様々なツールのテスト結果から、施工店に対して最適な使用法の提案を行うのが「クリスタ

<PEG-132スペック>

- ギヤアクション
- 質量:2.2kg
- 回転数:200~660min-1
- 偏心量:7.7mm
- 電流:11.6A
- 消費電力:1,100W
- パッド径:125mm
- 付属品:補助ハンドル、脱着式キャブタイコード5m



テスト結果から導き出された、磨き作業に最適な組み合わせ(PEG-132、一発鏡面「ハード」、ロングウールパフ)。最終仕上げ用には、一発鏡面「匠」を使い分けたい



トヨタ純正#202ブラックを塗装したパネル。左は2500#のペーパーを掛けたもの。右側がPEG-132と推奨する組み合わせでの左の状態から磨いた結果。磨きの仕上がりが

ルプロセス流」だ。本機についても同様で、同社の研磨剤「一発鏡面ハード」と「ロングウールパフ」の組み合わせ【画像A】でその実力を最大限に引き出す。「機械の実力も大切ですが、いかに相性の合う研磨剤とパフを組み合わせられるかが肝心です」と稲田氏。数々のテスト結果に裏付けられた説得力のある言葉だ。実際の実力の程は、【画像B】を見れば一目瞭然。「最終的には、一発鏡面「匠」という濃色車の最終仕上げまで可能なコンパウンドと、ダブルアクションで仕上げていただくのが良いと思いますが、磨き工程の85%はPEG-132とこの組み合わせで完了します。淡色系であれば、そのまま仕上げられるケースもあり、従来のギヤアクションの枠を超えた使い方が可能です」(稲田氏)

“最良”のコンビがもたらす驚きの結果

磨き作業の工程に、「劇的」とも言える変化をもたらすコンビネーションだが、この最適解の結果として、作業時間が飛躍的に短縮されたのだという。「車両の状態にもよりますが、ウチでオススメする組み合わせで作業していただくと、従来の半分から3分の2ぐらいの時間に短縮できます」との発言が！もちろん仕上がりのレベルも高いままだと言うから驚きだ。現在、多くの施工店でリョービブランドのポリッシャーや、クリスタルプロセスの研磨剤、パフが使用されていると思うが、今回ご紹介した組み合わせでお試ししてみたいかがだろう？ 仕事に“変化”をもたらすことは間違いなさそうだ。



様々なテスト結果から最適な組み合わせを導き出す

その実力を最大限に引き出す使用法を大公開!



シングル、ダブルもラインアップ。コードが1本で済むのでコンパクトにまとまる

コードを共有できる「シングル」と「ダブル」もラインアップ
リョービブランドでは、今回紹介したギヤアクションの他にも、シングル、ダブルのモデルも取り揃え、様々な用途に幅広く対応する。もちろん電源コードは「脱着式」。作業中のポリッシャーの持ち替えなど、わずらわしい電源の差し替えや、足元がコードだらけといったことも無い。ストレスなく作業に没頭できるのは大きな魅力だろう。3モデルまとめてその実力を体感して欲しい。詳しいスペックは、下記QRコードからホームページのご確認を。

〈問い合わせ先〉
京セラインダストリアルツールズ販売(株)
ナビダイヤル 0570-666-787



今回の新製品でもう一つ注目なのが「脱着式」の電源コードだ。意外なことだが、従来のポリッシャーには脱着式のコードという発想は無かった。「正直、そこについて気にしたことも無かったですが、実際に使っているとこんな助かるものはないですよ」と感想を語る稲田氏。

今までは、コードを本体に巻き付けて棚に収納するため、かなりのスペースを取り、片付けにも手間取っていた。コードが脱着できるように、そうした心配がなくなるのも大きなメリットと言えよう。

以前は、長いコードを自作していたのですがその必要も無くなりました。これも脱着の恩恵ですね(稲田氏)。蛇足だが、別売りコードには「赤」のカラー設定もあり、魅せる仕事をウリにするショップには、ぜひ、オススメしたい。



脱着式のコードがもたらす効果は多岐に及び

ココにも注目!

「脱着式」で
電源コード問題を解決!

「カーディティリングニュース」2018年4月25日発売号に掲載。